

第80回日本循環器学会学術集会 参加報告

札幌医科大学附属病院

蝶野大樹

私は今回杜の都仙台で3/18-20に開催された、第80回日本循環器学会学術集会(日循)に参加してきました。日循への参加も初めてで、仙台も初めてと初物づくしでまず食べたものが、これも初物ウーシャンメンでございます。このメンは茄子とと豚ロース肉の細切り、ピリ辛あんかけラーメンでして今まで食べたことのない新感覚の美味しさでした。



学会の規模は大きく、3会場を結ぶ交通手段にシャトルバスとシャトルタクシーがあったり、お昼時には仙台名物である牛タンの名店の出店で試食ができたりと、さすがDrメインの学会だと感じました。また、東日本大震災復興5周年のパネル展示も学会内で行われ、天皇皇后両陛下も来られていました。



日頃参加している学会では、きれいな画像をどのように撮影するかということがメインですが、この学会ではどのような症例または手技に対してどのような画像が有用なのかということを知ることができました。マルチモダリティで検査を進める現代で、病態や手技を詳細に知ることは非常に有用ですが、技師メインの学会では診療領域に絞って詳細に知ることは難しいと思うので、今後も参加出来る機会があればぜひ参加したいと思います。

特に印象に残ったこととしては、CTEPH(慢性血栓塞栓性肺高血圧症)におけるBPA(経皮的肺動脈形成術)のセッションが多く、BPA自体がまだ確立され

た治療では無いという点から今後更に発展していくことが考えられ、当院でも行っている手技であることから今後も勉強していかなければと感じました。また、hyperemiaの必要なく虚血の判定が出来るFFR-CTのアプリケーションが、今後東芝のvitreaに搭載されるようで楽しみです。

今回から初めて日本放射線技術学会とのジョイントシンポジウムも始まり、ますます学会同士の関わりが深くなっていくと思いますので、循環器に興味のある方はぜひ参加してみてください！！